

# The Clothesline in Kunitachi

女らしく、男らしく。

だれかの常識は、わたしにとっての非常識。

2022年 **1月14日** (金) —————> **1月20日** (木)

| 会場 | 旧国立駅舎を中心とした市内各所 | 入場・参加無料 |



主催 The Clothesline in Kunitachi 実行委員会

助成 公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団 文化・スポーツ事業 協賛 株式会社立川紙業

協力 Our Clothesline with Monica Mayer / くにたち男女平等参画ステーション・パラソル 後援 国立市  
一橋大学澁澤塾



# The Clothesline in Kunitachi

## 「The Clothesline in Kunitachi (ザ クロースライン イン クニタチ)」

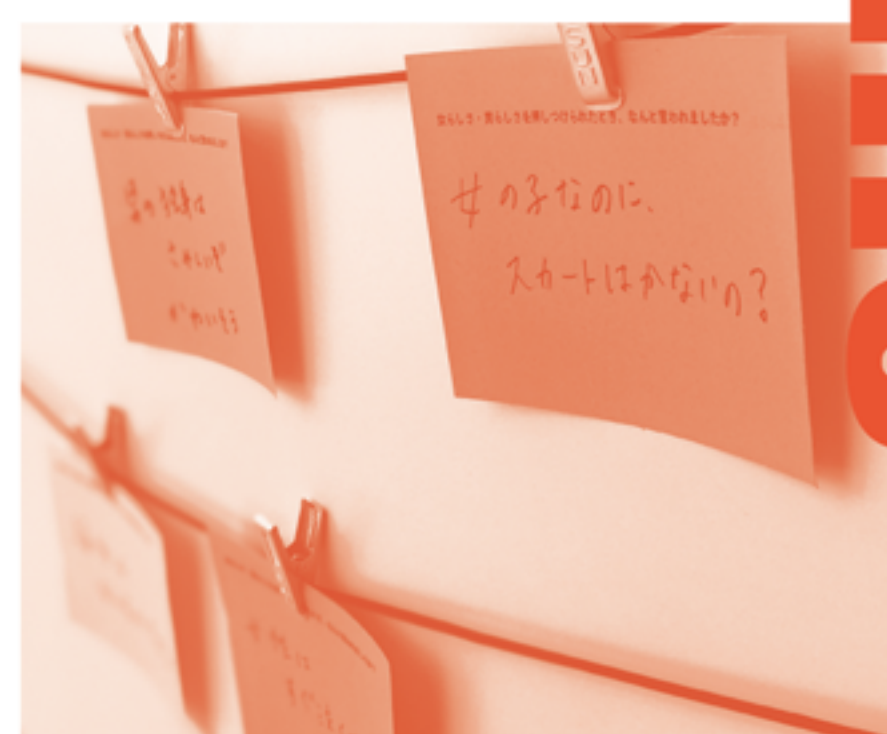
「The Clothesline」は、来場者が質問に対する答えをカードに記入し、物干しロープ (clothesline) に掲示する参加型アートプロジェクトで、日常の中の格差や差別などの社会的に表に出にくい「声なき声」を拾い上げ社会課題について考える作品です。日本を含め全世界で展開されており、2022年1月に東京都国立市でもThe Clothesline in Kunitachi (ザ クロースライン イン クニタチ) を開催することとなりました。

「The Clothesline」の特徴は、展示されている用紙やフレームだけが作品なのではなく、それまでの経緯 (今までの歴史を学んで質問を作ったり、ワークショップをしたり) や、その場で交わされた対話など、そこに関わる全てのストーリーが作品であること。国立市での開催に共感したメンバーで構成されたThe Clothesline in Kunitachi実行委員会で、複数回の話し合いをもとにテーマと質問を考えました。

## テーマは「女らしく、男らしく。 だれかの常識は、わたしにとっての非常識。」

国立市は、ソーシャル・インクルージョン (すべての人を社会的孤立や排除から守り、社会の一員として包み支え合うこと) の理念を掲げ、多様性を大切にするまちづくりを推進しています。社会全体でもジェンダー平等に対する取り組みが見られています。

しかしどれだけの人々が、性別に関係なく自分らしくふるまえる社会になっている、と実感しているのでしょうか。そこでもっと多くの人の声を拾い集めるための質問を考えました。たくさんの方にご覧いただき、作品に参加していただきたいと思います。ぜひご来場ください。



### イベントスケジュール

#### ▶ メインイベント

※会期中のイベントは新型コロナウイルス感染拡大の状況を見て中止、または追加の可能性があります。

2022年 **1月14日** (金) → **1月20日** (木)

## 「The Clothesline in Kunitachi」 (メインイベント)

**実施場所** 旧国立駅舎 (メイン会場)

**アクセス** JR 国立駅南口から徒歩1分

サテライト会場についてはInstagramから最新情報をご確認ください。

#### ▶ 関連イベント

2022年 **1月23日** (日) 17時～

## 「Re: The Clothesline」 (アフターイベント)

**実施場所** リトマス (東京都国立市東1-4-6 国立商協ビル2F)

最新情報は、  
Instagramから

